

特集「5G時代の社会を創るモバイル・高度交通システム」の編集にあたって

太田 賢^{1,a)}

第5世代移動通信システム(5G)の実用化が世界中で進められており、様々な業界における新しいサービスやソリューションの実現、新産業の創出が期待されている。モバイルネットワーク、デバイス、サービスを含むシステムは社会の1つの基盤であり、高性能化、高機能化、高効率化だけでなく、高信頼性、安心安全、エコ、持続可能性についても社会からの要請が高まっている。5G時代の社会を支えるべく、理論的な基礎を与える研究、商用化を目指した開発、社会実装や実生活での応用を想定した実証実験などが活発に進められている。

モバイル通信および高度交通システムに関するテーマに関しては、情報処理学会のモバイルコンピューティングとパーベイシブシステム(MBL)研究会と、高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会とが中心となり、これまでに毎年170件以上の優れた論文が研究会で発表されている。また、1997年から開催され、毎年200件を超える発表のあるDICOMOシンポジウムでも、これらの分野に関連する論文が数多く発表されている。MBLとITSに係る論文を一括掲載することにより、この分野の研究を推進し、その発展に寄与することは情報処理学会として非常に意義深いものである。本特集号は、このような研究推進を目的として、MBL研究会とITS研究会とが共同で企画した。

本特集号の編集経緯は、以下のとおりである。

論文募集公開：2020年1月

投稿締切り：2020年4月6日

第1回特集委員会：2020年4月17日

第2回特集委員会：2020年6月18日

第3回特集委員会：2020年9月17日

投稿数14件(うち英語論文3件)に対して慎重に審議した結果、条件付き採録が10件、最終的には9件(うち英語論文3件)が採録された。採録率は64%である。採録論文の内訳は、行動認識3件、位置推定2件、経路推薦・施設検索2件、車載ソフト1件、広告関連技術1件である。

本特集では招待論文として、大阪大学の内山彰氏にワイ

ヤレスセンシングによるコンテキスト認識関連の研究開発動向に関するサーベイ論文を執筆いただいた。

編集委員会としてはモバイルコンピューティング分野および高度交通システム分野の注目技術に関して質の高い論文を採録できたと考えている。最後に、幹事および編集委員、査読者の方々と、論文を投稿していただいた会員の皆様にも御礼を申し上げる。

「5G時代の社会を創るモバイル・高度交通システム」特集号編集委員会

- 編集委員長

太田 賢 (NTTドコモ)

- 幹事

山口高康 (秋田県立大学)

- 編集委員

梶 克彦 (愛知工業大学), 吉廣卓哉 (和歌山大学), 大村 廉 (豊橋技術科学大学), 鈴木秀和 (名城大学), 村尾和哉 (立命館大学), 今井智大 (富士通研究所), 佐藤彰洋 (九州工業大学), 重安哲也 (県立広島大学), 上坂大輔 (KDDI総合研究所), 松井加奈絵 (東京電機大学), リム勇仁 (北陸先端科学技術大学院大学), 稲村 浩 (公立ほこだて未来大学), 岩本健嗣 (富山県立大学), 重野 寛 (慶應義塾大学), 石原 進 (静岡大学), 川井 明 (滋賀大学), 柴田直樹 (奈良先端科学技術大学院大学), 湯 素華 (電気通信大学), 花房比佐友 (アイトランスポラボ), 石田繁巳 (九州大学), 赤塚 健 (日産自動車), 梅津高朗 (滋賀大学), 徳永雄一 (金沢工業大学), 屋代智之 (千葉工大), 木谷友哉 (静岡大学), 齋藤正史 (金沢工業大学), 佐藤健哉 (同志社大学), 鈴木理基 (KDDI総合研究所), 阿倍博信 (東京電機大学), 濱谷尚志 (NTTドコモ)

¹ NTTドコモ

NTT DOCOMO, Inc., Chiyoda, Tokyo 100-6150, Japan

^{a)} ootaken@nttdocomo.com